



## Vol 178 「気付いたらあと一ヵ月！」 新NISA開始までに確認しておきたいこと。

いよいよ「新NISA」開始まであと一ヵ月ほどになりました。コールセンターへのお問い合わせでも新NISAへの関心の高さを感じています。年初から新NISAを使う予定なのであれば、口座開設などは今年中に済ましておきたいものですし、改めて「心構え」も確認しておきたいところ。ぜひ今回も最後までお付き合いください。

### ①NISA口座の開設／確認はお済みですか？

2024年からスムーズに新NISAを始めるのなら、口座の準備が必要不可欠。便利なことに、2023年までにNISA口座を開設している場合には、同じ金融機関で新NISA口座が自動的に開かれます。つまり2024年からはじめて制度を利用したいとお考えの場合には、年内に口座開設をしておくが無駄なくスタートが切れますね。

一方でこの自動開設がデメリットになるのは、既にNISA口座を開設しているけれど、新NISAは別の金融機関の利用を検討しているという方。なぜなら金融機関の変更は原則年に1度。変更を希望する年の前年10月1日～当年9月30日までに手続きを済ませる必要があるからです。このとき、「来年の9月末までなら余裕があるじゃないか」と考えるのは早計です。実は変更を希望する年に一度でもNISA口座で商品の買い付けを行っていると、その年のNISA口座は変更ができなくなってしまうのです。現行NISAで積立の設定をしている場合はそのまま新NISAに引き継がれて1月以降も自動で買付されることがあるので、年内の対応が望ましいでしょう。

既に口座を持っていればスムーズに

～2023年  
現行NISA  
口座

自動的に  
開設

2024年～  
新NISA  
口座

別の金融機関で  
口座を作る予定  
なら要注意です。



- ・金融機関の変更は原則年に1度。
- ・「つみたて投資枠」と「成長投資枠」を別々の金融機関で利用することはできません。

※各種情報より日興アセットマネジメントが作成。制度の内容も含め変更される可能性があります。

## ②作戦会議はお済みですか？（自ら“設計”していくことが大事！）

過去の「こよみ」等でもご案内の通り、新NISAは大幅に制度が拡充され、将来の資産形成により役立つものにバージョンアップしています。大きな違いでいうと、投資の上限金額が拡大されるとともに、投資期間の縛りがなくなりました。これにより資産設計の柔軟性が増したわけですが、その分一層「個々人の戦略」が大事になると考えられます。

### 新NISAの概要

新しいNISA 生涯の元本 1,800万円まで	つみたて投資枠	年120（月10）万円を上限に、 投資信託を買い付けられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 期間の縛りはなく、1,800万円までの「投資元本」から生じる利益が非課税に。</li> <li>● 成長投資枠の生涯の上限は1,200万円。</li> <li>● 売却した場合は翌年にその元本の枠が復活する。</li> </ul>
	片方でも両方でも可 成長投資枠	年240万円を上限に、投資信託などを買い付けられる。	

※各種情報より日興アセットマネジメントが作成。制度の内容も含め変更される可能性があります。

投資期間の制限がなくなったことで、より一層コツコツと長い時間かけて積み立てていく考え方もあるでしょうし、上限の「1,800万円」までできるだけ早く投資して、その分長く保有するという考え方もあるでしょう。

「長く保有する」ということはその間「市場に居続ける」ということ。一般に投資の成功はこの期間が長いほど確度が高まり、利益が大きくなる傾向にあります。そう考えると、無理のない範囲で、ある程度の金額をある程度の期間で投下して長く持つ、ということは戦略として考える価値がありそうです。

どちらも「上限の1,800万円」まで投資するけれど――

#### 例えば① “つみたて投資枠だけで1,800万円を埋める” ケース



長い期間かけて  
コツコツと上限額  
まで投資する

投資金額や期間  
に応じてさまざま  
なケースが  
考えられますね。

#### 例えば② “両枠に上限＆最短で投下する” ケース



枠を埋めた後の  
運用期間が長く  
なる



### ③そもそも資産運用は必要ですか？も改めて。

口座の準備と戦略が立ったら、いよいよ商品選び…といきたいところですが、ここにきて投資期間の長さや投資額、そしてリスクなどを考えて躊躇する気持ちが芽生えてしまうかもしれません。その場合はもちろん立ち止まって考えることも大切です。

そもそもNISAのメリットとは、「利益に対する税金は免除します(非課税)」という話。つまり売るときになってはじめてメリットを享受できる、言い換えれば利益がないとそもそもメリットはないということ。資産運用をする以上、「売るとき」まで保有資産の時価が毎日変動するストレスを抱えることになります。しかし、預貯金だけでは資産の大きな成長は見込めません。「話題の新NISAだから」ではなく、将来を真剣に考えてストレスと天秤にかけてもなお、「私には資産運用が必要なのだ」と納得して始めることが何より大切ではないでしょうか。このステップをしっかり踏むことで、自ずと自分が取れるリスクや選ぶべき商品が見えてくるかもしれません。ひとりで悩まず、口座開設する金融機関でじっくり相談してみるのもいいですね。

日興アセットでは新NISAの概要や活用する際のヒントなどをまとめた動画(※下記ご参照)を公開しています。過去の「こよみ」にも新NISAのご案内がありますので、これらもぜひ参考にしてみてください。

3本の動画を公開中！

特設ページ

「新しいNISAの枠の埋め方！…よりも大事なこと」

<https://www.nikkoam.com/sp/newnisa>

非公式キャラクター青い人と  
日興アセット社員が分かりやすく解説します



nikko am



コールセンター

0120-25-1404

営業時間 平日 9:00~17:00

日興アセットマネジメント